

# 歯科保健だより

2013  
第62号

## 平成24年度より公益財団法人に移行しました



会長 五十嵐 治

皆さん、ご自身のお口の中は快調でしょうか。先ず何よりお口に関心を持ってください。1日に1回は鏡でお口の中をのぞいてみてください。お口の健康は身体の健康の入り口です。人間はおいしく食べてこそ健康でいられるし、健康であればこそおいしく食べられます。

私たち新潟県歯科保健協会は新潟県、新潟県歯科医師会と協力して県民の皆さんのお口と身体の健康のお手伝いをしている団体ですが、平成24年4月1日より、公益財団法人となりました。どうしたら健康でいられるかの知識の普及、お口の健康診断、食べ方や飲み方の指導、健康器具の販売、皆さんからの要請があればいつでも何処にでもとんでいきます。事務局はスタッフ6名と小人数ですが、パワーは溢れています。

新潟県の小学生は日本一むし歯が少ないのです。県民全部の世代が日本一になるべく一緒にがんばりましょう。お口の健康は新潟県の文化です。

P2~P3

歯科保健知識  
啓発グッズ紹介  
事業紹介

P4・P5

平成24年度  
新潟県歯科保健協会会長表彰  
よい歯のコンクール  
研修会情報

P6・P7

切り取り式ポスター  
お口のケアで  
口臭予防

P8

介護報酬改定・  
介護予防マニュアル  
改訂について

一もくじー

公益財団法人 **新潟県歯科保健協会**

ホームページアドレス <http://niigata-dhs.com>

新潟県歯科保健協会

検索







# ～介護報酬改定・介護予防マニュアル改訂について～



「高齢者の尊厳保持と自立支援」という介護保険の基本理念を一層推進するため、平成24年度介護報酬の改定や新設及び介護予防マニュアルの改訂が行われました。その中で歯科に関する項目をピックアップし、紹介します。

## 【介護報酬改定】

### 選択的サービス複数実施加算(新設)

介護予防通所介護事業所、介護予防通所リハビリテーション事業所が複数サービス(運動・栄養・口腔)を実施した際に算定できます。

項 目	算定要件
選択的サービス複数実施加算(I) 480単位/月(2種類)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者が事業所の提供を受ける日にいずれかの選択的サービスを実施していること</li> <li>●いずれかの選択的サービスを月2回以上実施していること</li> </ul>
選択的サービス複数実施加算(II) 700単位/月(3種類)	

### 口腔機能維持管理加算(旧:口腔機能維持管理加算)と口腔機能維持管理体制加算(新設)

項 目	内 容
口腔機能維持管理体制加算 30単位/月	介護保険施設において、歯科医師または、歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対し、口腔ケアに係る技術的助言及び、指導を月1回以上行った場合に算定(歯科医師または、歯科医師の指示を受けた歯科衛生士の技術的助言及び、指導に基づき、入居者又は、入院患者の口腔ケア・マネジメントに係る計画が作成されていること)
口腔機能維持管理加算 110単位/月	口腔機能維持管理加算を算定しており、歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が入院患者に対し、口腔ケアを月4回以上行った場合に算定

### 居宅療養管理指導

項 目	変 更 点
歯科医師が行う居宅療養管理指導(月2回まで) 同一建物居住者以外 500単位 同一建物居住者 450単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>●同一日に同一建物住居者以外のものに対して行う場合と、同一建物住居者に対して行う場合の区分に変更</li> <li>●ケアマネージャーへの情報提供の必須化</li> </ul>
歯科衛生士が行う居宅療養管理指導(月4回まで) 同一建物居住者以外 350単位 同一建物居住者 300単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>●居宅・居住系施設入居者の区分をなくし、同一日に同一建物住居者以外のものに対して行う場合と、同一建物住居者に対して行う場合の区分に変更</li> </ul>

### 経口維持管理加算

栄養ケア・マネジメントの充実を図る観点から、歯科医師との連携、言語聴覚士との連携を強化するよう見直されました。内容としては、算定要件が緩和し、経口維持加算取得の指示は医師に加え、歯科医師も可能となりました。

## 【介護予防マニュアル改訂】

### 運動・栄養・口腔を組み合わせた複数プログラムの導入

運動・栄養・口腔のいずれか1つでも対象であれば複合プログラムの対象者としてよいこととなっています。

<プログラムの実施回数・期間・参加人数等の目安>

実施回数・期間	毎週1～2回、3ヶ月程度 1回あたり約2～3時間のプログラム
参加人数	教室10～30名程度

### 様式の簡素化

改訂前のマニュアルに示されている様式(口腔機能向上サービスの記録、口腔機能向上サービスの管理指導計画・実施記録)と比較し、簡素化された様式が示されています。この様式はあくまで例示であり、現場の実態に即して有効な様式を用いてよいこととされています。

※介護予防マニュアル(改訂版:平成24年3月)については[厚生労働省ホームページ](http://www.mhlw.go.jp/topics/2009/05/tp0501-1.html)をご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2009/05/tp0501-1.html>